

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

32 Burra Road, Artarmon 2064
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au



年頭の辞



新しい年のはじめにあたり、
ご挨拶申し上げます。

まず、2022年2月に始まったロシア連邦のウクライナ侵攻に対して、私たち念仏者は親鸞聖人がお示しくださった「世のなか安穏なれ」のお言葉を改めて深く心に刻み、武力による他国の主権の侵害を強く非難するとともに、一刻も早くウクライナに平和が訪れることを願ってやみません。

さて、昨年も、世界では新型コロナウイルス感染症の流行が続きました。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられたすべての方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆様、後遺症を患われている皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医師や看護師をはじめとする医療従事者の方々、ライフラインの維持に努めておられる方々に深く敬意と感謝を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行は、科学技術が発達し、医療も進歩した世の中にあっても、私たちの予想できない事柄が現実にかかるということを知らしめました。仏教を説かれたお釈迦様は、この世を諸行無常であると示されました。約2500年たってもそのことに変わりはありません。そして、この真理をそのままに受け入れることができず、悩み苦しむ私たちの姿も変わることはありません。

それ故にこそ、新型コロナウイルス感染症の流行以前も以後も変わることなく、親鸞聖人が説かれた浄土真宗のみ教えが、日々悩み苦しむ私たちの生きる支えとなります。阿弥陀如来を中心とするお寺の集まりは、み教えを聞く場であると同時に、同じみ教えを依りどころとする私たちがお互いに支え合い助け合って、安心して集うことのできる場でもあります。

(2ページにつづく)

もくじ

ご門主 年頭の辞	1
お寺の予定表	1
新年のご挨拶	2-3
今月のことば	3
HBMA ニュース	4
QLD州の門信徒	
除夜会、修正会	4
書き初め	
年回表	4
ご 懇 念 録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

Jan 15 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
Feb 5 (Sun)	11:00am	二月祥月法要/February Shotsuki Memorial Service
19 (Sun)	11:00 am	涅槃会 / Nirvana Day Service
Mar 5 (Sun)		クリーンアップ・オーストラリア・ディ / Clean up Australia Day
		@Lane Cove National Park
19 (Sun)	11:00 am	三月祥月法要/March Shotsuki Memorial Service
26 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
Apr 9 (Sun)	11:00 am	花祭り法要/Hana Matsuri Service
17 (Mon)		〔本願寺報発行予定 / New Bulletin Issue〕



頭
春

二〇二三年 正月

本年も、どうぞ宜しく
お願い申し上げます

渡部開教使ファミリーより

シドニー本願寺報読者の皆様へ



2023年1月1日

浄土真宗本願寺派
門主 大谷 光淳



家族一同より

「今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます！」

新年のご挨拶

『シドニー本願寺報』読者の皆さまにおかれましては無事に新しい年をお迎えになられたこととお察し申し上げます。

旧年中は、皆様に大変お世話になりました。開教事務所をアーターモンに移転して二年目の年始を迎えるとなりました。コロナ禍の中、多くのご縁ある皆様のお陰で、昨年中も無事に開教活動を続ける事が出来ましたことをうれしく思うことです。

ただ、世界に目を向けますと、昨年2月にロシアがウクライナに侵略を開始し、それが、一年近く経った今も続いていることに心を痛めている次第です。人命を無視し武力によって自分たちの要求を満たそうとする行為を強く非難するとともに、一刻も早く平和的な解決がなされウクライナに平和が訪れることを切に願うものです。

私達の開教事務所の現状に目を向けますと、昨年4月から本山からの助成金がほとんど打ち切られた状況(94%減)となり、今年度は繰越金によって何とかできましたが、来年度はメンバー、サポーターからの皆様からの会費や寄付が頼りとなってきます。この状況から、今ご縁のある皆様からの今後更なるご協力なしには、開教事務所は存在が難しい現状ですので、引き続きのご支援を切にお願いするものです。開教使自身フルタイムの仕事に就いて開教事務所の存続をサポートする覚悟です。既に通知をしましたように、今年4月からの開教事務所の登録につき変更も視野に現在改革案を会計士からの提案を基に検

討しているところです。登録のされ方が変更となりましても、これまで通り皆様からの寄付を受け付けることは出来ますので、引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

2022年を振り返りますと、これまで同様多くの皆様とのご縁を頂いた有り難い一年となりました。ここに昨年度の主だった活動を紹介したいと思います。

昨年度始めから家族が順にコロナに感染し行事が行えなかったものの、4月半ばには収まり、4月12日にはペロテットNSW州首相の招待でパラマタの、コムバンクスタジアムにて開催されたイフターディナーへ出席させて頂きました。



ペロテット首相

また、4月17日には延期された花祭りをお勤めし、5月12日にはキャンベラからヒールズミス師を迎えて降誕会・年次総会を無事にアーターモンの開教事務所にて厳修することが出来ました。

5月、6月にかけ写経クラスを行えたことも大きな収穫でした。興味のある二人の方にお経(重誓偈)の意味を解説しながら写経を体験して頂きました。

6月26日には、オンラインで行われたNSW仏教連盟の年次総会に出席し、討議等にも参加致しました。

その2日後の28日にシティの国際コンベンションセンターにて開催された様々な職業を紹介するイベントに参加したところ、履歴書を残して来た一社より連絡が来て、ケアワーカーの面接を受けることとなり、介護資格を持っていたこともあって採用され、8月より研修生として給与を頂きつつ実習をしながらの試用期間がスタートしました。それが年末近くになって、仏教連盟の仲介によって、これまで21年間以上RNS病院で週一度だったチャプレンのボランティア活動を、毎日病院に勤める常勤職とするということで、是非勤務してもらいたいとの有難いお話を頂き、4ヵ月半程勤めたケアワーカーの会社を辞め、新年より気持ちも新たに病院勤務をする運びとなりました。

ただ、仏教入院患者の絶対数が少ないという事で、宗教を登録していない患者の皆さん

(3ページへつづく)



開教事務所ご本尊



おせち料理



の巡回も担当することとなり、それに向けて、必要なトレーニングを受け、更に400時間の臨床パストラルケアコースを受講する予定で、それに向けて準備をしているところです。

日々の活動に話を戻しまして、8月の7日には、コロナ禍で過去二年間お参りしていなかったベトナム寺院のお盆法要に招待され読経を行って参りました。そして翌週の14日には、開教事務所でも無事にお盆法要を厳修することができました。



ベトナム寺院で
読経 (07/08/22)

また、8月17日には、生け花インターナショナルの例会にて、メンバーの皆様に生け花に関連した仏教のお話をさせて頂き大変喜んで頂けたのは嬉しい限りでした。



生け花インターナショナルの例会にて(17/08/22)

9月18日開催のシドニーマラソンはついに3年ぶりに対面での開催となり、朝早くから全てのランナー



がミルソンスポイントの出走地点に集い、号砲と共にレースが行われました。今年も無事完走することができました。今回の大会には、何と、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストのQちゃんこと、高橋尚子選手が応援に来ており、ゴールで出迎えて下さったのは大変嬉しい思い出となりました。

10月16日には、裏千家主催の茶会に出席させて頂きました。

11月6日には無事に宗祖親鸞聖人の御遺徳を偲び、報恩講が厳修されました。そして、年の瀬も押し迫った12月18日には、開教事務所の仏具のお磨きをお参り下さった三井様、奥山様と共に行いました。有難うございました。



お磨きを行いました。
(18/12/22)

一年を通じ、ボランティアも積極的に行ってまいりました。病院のチャプレンはボランティアからフルタイムとなりますので、昨年度が最後のボランティアの年となりました。

日系社会ではシドニー日本クラブの理事(会報の編集長兼、ソーラン踊り隊リーダー)、並びに、日本人会水泳部の部長としてお手伝いをさせて頂いて参りました。2023年も様々な場所でご縁を結ばさせて頂きたいものと考えております。

開教事務所の運営は困難な局面を迎えておりますが、私の新しいチャプレンの仕事を軸にご縁のある皆様からの支援を得て、日曜礼拝も続けていきたいと思っている次第です。引き続きのご協力を心よりお願い申し上げます。

阿弥陀様の廣大無辺な智慧と慈悲の心から発せられている信心は、国や人種、言葉の壁を越えて全ての生きとし生けるものたちに平等に至り届いています。その信心が既に私たち一人一人に至り届いていることを喜び「南無阿弥陀仏」と共に、自分のできることを実践しつつ、新たな一年を感謝の気持ちで歩んで行きたいものと思っております。 合掌

オーストラリア開教事務所長
渡部重信



今月のことば

この世のことは
なにごと
何事も何事も
ねんぶつ じよえん
お念仏の助縁

信楽 しがらき
峻磨 たかまろ

*Everything in this world
is interconnected
by the Nembutsu.*
《by Rev Takamaro Shigaraki》



(『2023 令和5年 法語カレンダー』 “2023 Calendar with Dharma Words” / 真宗教団連合刊)

QLD州の敬虔な仏教徒が真宗に帰依

クイーンズランド州のイプスウィッチ在住の御自分で1994年から仏教書を通じて仏教徒となったポール・アルンデルさんから、昨年末にメールで「現在腎臓透析をしているが先は長くない、しかし生きている間に浄土真宗の僧侶とお話したいのでどなたか近くの方を紹介してほしい」との依頼があり、僧籍を持つブリスベンの宮島さんを紹介したところ、12月21日に宮島さんの訪問が実現し、彼が真摯に仏・法・僧を敬い、浄土真宗に帰依されていることを確認することができました。そして年が明けて1月6日に往生の素懷を遂げられました。合掌



宮島さんとポールさん (21/12/22)

除夜会、修正会を厳修しました

大晦日の夕方に、2022年度最後のお勤め、除夜会(じょやえ)を厳修、除夜の鐘をみんなで合わせて108回鳴らしました。



そして新年を迎え、元旦の朝11時

には一年の最初のお勤め、修正会(しゅうしょうえ)を厳修。

お勤めの後、焼香、合掌し、一年の最初にあたり、参拝者一人一人が新年の決意を阿弥陀様の前で誓わせて頂きました。

お焼香をして鐘を鳴らしました。(31/12/22)

令和5(2023)年
年回表

回忌	御往生年	西暦
1周忌	令和 4年	2022年
3回忌	令和 3年	2021年
7回忌	平成29年	2017年
13回忌	平成23年	2011年
17回忌	平成19年	2007年
●23回忌	平成13年	2001年
●25回忌	平成11年	1999年
●27回忌	平成 9年	1997年
33回忌	平成 3年	1991年
50回忌	昭和49年	1974年
100回忌	大正13年	1924年

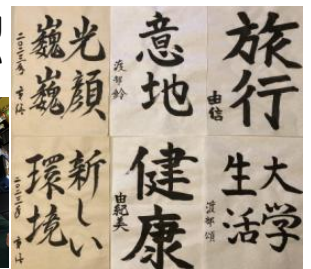


●23回忌と、27回忌をお勤めした場合、25回忌を省く場合があります。また逆に25回忌をお勤めし、23回忌と27回忌を略することもあります。法要を予定されている方は、開教事務所までご連絡下さるようお願いいたします。

新春恒例の書き初めを行いました！

1月2日には毎年恒例の書初めを行い、それぞれが今年にかけた誓いの言葉を生懸命に書きました。

合掌



それぞれの新年の誓いをこめて書き初めを真剣に行いました(02/01/22)

ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude



この二ヶ月間で、下記の方々より総計 2,125.00ドルのご懇志をご進納頂きました。有り難うございました。合掌

In the past month, donations to the amount of \$2,125.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations

- * Mr Roy Cook (Adelaide, SA) — Membership contribution
- * Ms Kaoru Morioka — Membership/Building fund contribution
- * Mr Victor Davidson — Membership contribution
- * Ms Akiko Minami — Donations
- * Ms Noriko Sakagami — Donation
- * Ms Yoshiko Gault — Donation
- * Ms Ayako Mitsui-Browne — Donations & Osaisens
- * Mr Hisakazu Akiyoshi — Donations
- * Ms Masako Sugimoto (Japan) — Special donation (2023 Calendars)
- * JASC Print
- * JCS Print
- * BCNSW Chaplain Fund



Thank you very much in Gassho



New Year Messages from HBMA ministers

“Once again, another troubled year has passed and we hold our breath for the prospect of better times ahead. While we should always remain hopeful, we must also prepare ourselves for whatever the restless winds of impermanence may send our way. The Dharma is a very real source of strength in difficult circumstances, and so I urge you all to hear the Jōdo Shinshū teachings and study them deeply. Very best wishes for 2023 to you and your families.”



**Rev John
Paraskevopoulos**

In Gassho,

Rev John Paraskevopoulos

I wish everyone health and happiness in 2023 as we live our unrepeatable lives saying the Nem-buttsu in gratitude for the loving embrace of Amida Tathagata.

When the burdens of life seem too much, we can remember these words from Shōshinge:

‘Although I too am within the Buddha’s embrace, With my eyes veiled by blind passions I am unable to see it; Nevertheless the Great Compassion is always shining untiringly upon me.’



Rev Mark Healsmith

In Gassho,

Rev Mark Healsmith

***Mr Paul Arundell
took refuge to three treasures of Buddhism***

Mr Paul Arundell is a Jodo Shinshu Buddhist follower who lived in Ipswich QLD. Paul has been a Buddhist since 1994 and taught himself Jodo Shinshu through many books. Rev Gatenby helped him in 2015. He was able to take refuge in Buddha, Dharma and Sangha, while he was in this world, assisted by Rev Takashi Miyajima on 21 December 2022.

He became one with Amida Buddha in the morning of 6 January 2023.

Namo Amida Butsu in Gassho,



Rev Takashi Miyajima and Mr Paul Arundell. (21/12/22)



BULLETIN

New Year's Eve service (Joya-e)



In the evening of 31 December 2022, we observed Joya-e / New Year's Eve service, chanted a sutra together and hit a bell 108 times divided by all attendants.

In Gassho,

New Year's Service (Shusho-e)

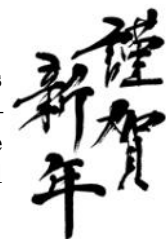
In the morning of New Year's day of 2023, we observed Shusho-e / New Year's Day service celebrating the first day of Year of the rabbit. We hope this new year will become a wonderful year!



In Gassho,

We did "Kakizome" on 2 January 2023

On the second day of the new year, as our ritual activity, we did Kakizome – the calligraphy writing with a Fude (brush) and sumi (black charcoal paint) at the beginning of the year. By writing these letters we are promising to act like we write throughout the year. It is like each one of our New Year's resolution. So we are hoping we can achieve what we wrote on this day.



In Gassho



ings and also need to take 400-hour CPE (Clinical Pastoral Education) Course. So, I am really look forward to doing this excellent task.

In August, I was invited to attend Ullambana (Obon) service at Phuoc Hue Vietnamese Temple in Wetherill Park on 7 August, and offered my chanting on behalf of Japanese Buddhist.

Then, we observed our Obon service on the following Sunday, on 14 August.



I offered Japanese chanting at Phuoc Hue Temple (07/08/22)



Sharing Buddhist talk to Ikebana members (17/8/22)

On 17 August, it was my honour to share a Buddhist talk for the members of Ikebana International at Chatswood Bowling Club.

In September, I ran my sixth Sydney Marathon for world peace and the future of HBMA (18/09/22). Finally, this event was held face to face. The starting point of the race was in front of Luna Park at Milson's point like before. It was a big surprise and great treat for all runners that we were all cheered by Q-chan (Naoko Takahashi), the Sydney Olympic ladies marathon gold medallist. She also welcomed all finishers at the goal point!

In September, I ran my sixth Sydney Marathon for world



With Naoko Takahashi



Chakai at Maiden Theatre (16/10/22)

On 16 October, I was invited to join the annual Chakai of Urasenke Sydney at the Maiden Theatre in Royal Botanic Garden.

In November, we observed our annual Hoonko service (06/11/22) commemorating the founder of Jodo Shinshu, Shinran Shonin.

In December, we organised to do the annual Omigaki – Altar clean up (18/12/22), and made our shrine clean



Omigaki took place after the last Sunday Service of the year 2022(18/12/22)



and shiny! Thank you Ms Mitsui and Ms Okuyama for your help!

Volunteer work is very important to keep connecting with our communities. My volunteer works are as follows. Being a hospital chaplain at the Royal



With Fr Peter Dowd, Chief Chaplain at RNSH (15/12/22)



Visited Japanese Consul General's residence as one of the JCS directors (8/12/22).



After having JASC coaches meeting (10/12/22)

North Shore Hospital, where I have been helping over last 22 years, and this soon will become my full time job!

Then, volunteering for the "Japan Club of Sydney (JCS)", as a secretary, Soran Dance Group Leader, and also the chief editor for their newsletter.

I also give my support for the "Japanese Society of Sydney" as a president of their swimming club (JASC / Japanese Amateur Swimming Club),

2022 was a year that we were able to see the recovery. All of our activities are back to normal and people are all busy working like before the Covid-19 pandemic, enjoying their daily lives.

However, it is sure that there are still many unidentified illnesses all over the world, so I wish all of you to take good care of your health and live your lives fully.

I strongly hope the year 2023 will be even busier and more meaningful year than ever.

Amida Buddha's boundless compassion always reaches each one of us, with no discrimination or distinction. Once we realise Amida Buddha's supporting arms, which are always trying to embrace each of us, we will discover a life of appreciation. Then we will recite Buddha's name spontaneously.

The life of appreciation is the way to live as a Jodo Shinshu follower.

Therefore, let us continue to live our faithful daily lives appreciating Amida Buddha's wisdom and compassion reciting Amida Buddha **Namo Amida Butsu**, and try to help those who suffer.

I wish all readers of the bulletin safe, happy and meaningful days throughout the year.



In Gassho,
Rev Shigenobu Watanabe



A HAPPY NEW YEAR 2023



"Shin'nen Akemashite Omedeto Gozaimasu (Happy New Year!)" from Rev Watanabe's family!



Minister's New Year Message

As we welcome the New Year 2023, on behalf of Hongwanji Buddhist Mission of Australia, I would like to express my sincere appreciation to each and every one of you who have supported HBMA, its activities and services, during this difficult year.

As everyone witnessed, on 24 February 2022, Russia aggressively began its invasion of Ukraine through military force, and it has been almost one year since then. The end of the fight is yet to be seen. It is our fervent hope that a peaceful resolution will become reality as soon as possible and that there be a safe return to peace for the people of Ukraine.

Looking at our situation here in HBMA, we now have to manage our mission all by ourselves as we are only receiving about 6% of previous subsidy from Japan. **Now HBMA is depend on contributions and donations from our members and supporters. So, I wish to ask all of you to support more for our mission if possible.**

As we announced before, we might change the form of our mission to "association". Still you may continue to support and contribute to us. I wish to see your strong support for this challenging period.

Looking back to the previous year 2022, in April, it was my honour to receive an invitation from The Hon Dominic Perrottet to attend Premier's Ifter Dinner on 12 April at CommBank Stadium in Parramatta.



The Hon Dominic Perrottet MP (left) and invitation card from him (centre)



Attended Premier's Ifter Dinner with Mr Gawai



BULLETIN

Then, we were able to observe Hana Matsuri on 17 April at the Hondo in Artamon (as I became positive for Covid-19 at the beginning of April, this service was postponed).

Then we were able to observe Gotane and HBMA Annual General Meeting on 12 May with presentation of Rev Mark Healsmith from Canberra.

During the month of May and June, the first ever Shakyo (Buddha's sutra tracing by brush) class was held and two ladies from Japanese community were successfully completed "Jusei-ge".

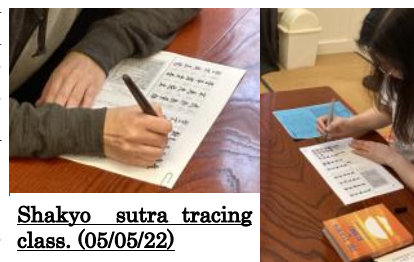
On 26 June, I participated in the Annual



Hana Matsuri (17/04/22)



Gotane and AGM was successfully held with Rev Healsmith. (12/05/22).



Shakyo sutra tracing class. (05/05/22)



BCNSW AGM (26/06/22)

General Meeting of BCNSW by zoom, but the actual meeting was held at the Jong-BopSa Korean Buddhist Temple at Belfield.

My job hunting also started. After I attended "Sydney Job Fair" on 28 June at the International Convention Centre Sydney, I was contacted by one of the care worker companies, Australian Unity, and went through interview. Then, I was able to receive a job offer and started to work as an apprentice care worker since last August.



Luckily, I received even better offer from Buddhist Council of NSW that they nominated me to be a first ever full time Buddhist Chaplain at the Royal North Shore Hospital and possibly other Hospitals where Buddhist Chaplain needed. This was a wonderful news for the whole Buddhist community in NSW.

In addition, I also have to work so called "Secular Chaplain" who looks after non religious patients. For starting my new job, I will be taking some train-

(Continues on page 3)

BULLETIN

New Year's Edition!

Volume23 - No. 1

11 January, 2023

Hongwanji Buddhist Mission of Australia



PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Mob : 0412 - 396 - 014
Email : hbma@optusnet.com.au
<http://www.hongwanji.com.au>

New Year's Greeting



Happy New Year, everyone! At the beginning of this New Year, I would like to extend my best regards to you all.

In view of the Russian invasion of Ukraine that began in February 2022, as Nembutsu followers who have deeply inscribed in our hearts and minds Shinran Shonin's message of "May there be peace in the world," we firmly stand against the military infringement of the other nation's sovereignty, and also aspire for immediate return of peace in Ukraine.

Over the last year, COVID-19 continues to be a global pandemic. I would like to offer my deepest condolences to those who fell victim to the disease and express my sympathies to those who are undergoing treatment. I would also like to express my respect and sincere gratitude to the doctors, nurses, and other frontline medical professionals who have been engaging in the treatment of infected people, as well as all essential workers who have made it possible for us to continue with our lives.

The pandemic has forced us to learn firsthand that we will continue to be confronted by unex-

Inside This Issue

New Year's Greeting - from Gomonsu	1
New Year Message from Resident Minister	2-3
HBMA News Hoonko Service	3
New Year's messages from Ministers and President	4
NYE & NYD services/Kakizome (New Year calligraphy)	4

pected situations even in modern times despite technologies both in science and medical fields being highly developed. Sakyamuni Buddha, who passed on the Dharma to us, made clear that there is no life nor entity in this world that lasts forever. This truth, the principle of impermanence, has never changed even in this time and age approximately 2500 years since his time. Another fact that does not change is our inability to accept this truth as it is, and because of this, we continue struggling.

This is the very reason why, regardless of the pandemic, we can rely on the Jodo Shinshu teaching clarified by Shinran Shonin, which guides us as a spiritual foundation that enables us to move forward even when being overwhelmed with difficulties. A gathering at the temple with Amida Buddha as its center provides a great opportunity to receive the Dharma as well as an occasion in which people can support and reassure one another as fellow practitioners who follow the same teaching.

I hope you will continue to share the teaching within the greater society through various ways and your temple will or continue to serve as a place where people can gather and find comfort in its activities. I humbly ask for your understanding and cooperation in support of your temples. I would like to conclude my new year's greeting with my heartfelt appreciation to you all.

January 1, 2023

OHTANI Kojun
Monshu
Jodo Shinshu Hongwanji-ha

